

各研修は全国6センターで実施しております。
実習や演習は各センターのならではの持ち味があります。

弘前大学の持ち味 ご紹介

被ばく医療・原子力災害の
要点がわかる
カード型資料を進呈

中核人材研修

傷病者受入・本部対応
双方学べる医療実習

派遣チーム研修

机上演習
チームメンバーの目線で
シミュレーション

甲状腺簡易測定研修

測定対象者の背景を
意識した測定実習

中核人材研修では、弘前大学が独自で作成した診療フローや汚染傷病者に対応する際の医療従事者の被ばく線量などの要点をコンパクトにまとめたカード型資料を受講される皆様へ進呈しております。研修後もぜひご活用ください。（派遣チーム研修でも進呈）

第1回 7月22日（月）～24日（水） 第2回 8月26日（月）～28日（水）

原子力災害医療派遣チームは原子力災害時のDMATの様な存在であり、弘前大学が開催する派遣チームの養成研修では医療機関の支援／受援体制の確立に必要な情報管理や災害対策本部の設置・運営といった、災害医療の基礎から学べる実習を意識して実施しています。

甲状腺簡易測定研修では、NaIシンチレーションサーベイメータの操作技術の取得だけでなく、測定者にはリスク（クライシス）コミュニケーションが求められることも重要ですので、このような緊急時におけるリスクコミュニケーターに求められることも講師・受講生皆でディスカッションします。

第1回 9月6日（金） 第2回 令和7年2月12日（水）

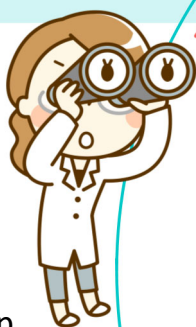


研修講師 辻口

<明石客員教授による特別講義> *令和6年度は第1回・第2回中核人材研修で開催
長年に渡り、様々な放射線事故の医療に関わってきた明石眞言客員教授による
特別講義「放射線被ばく例」は、弘前大学だけの企画です。

研修開催情報・受講申込は

retms 被ばく医療研修ポータルサイト



待望の「中核技能維持研修」新設！

中核人材研修修了者向け、短縮版の
ブラッシュアップ研修です。
弘前大学では令和6年11月27日～28日
に開催します。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/retmsWeb/top>

弘前大学放射線安全総合支援センター（2024.4）